

地震・津波に伴う水害対策に関する都の基本方針（平成24年8月公表）

【耐震対策】

将来にわたって考えられる最大級の強さを持つ地震に対して機能を確保

【耐水対策】

堤防や水門が損傷しても、電気・機械設備への浸水を防止し、設備の機能を確保

【水門操作等】

現地操作の高潮防潮扉などについて、遠隔制御システムの導入を検討

下水道施設の地震・津波対策整備計画

耐震対策

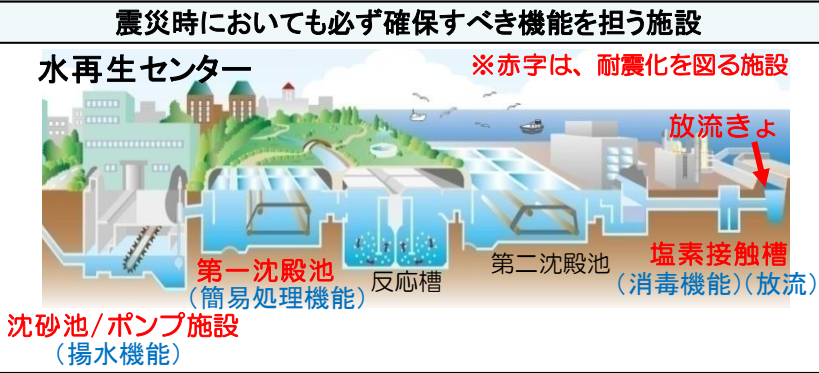
水再生センター及びポンプ所の耐震化

これまでの取組

○既存施設については関東大震災規模の地震動、新規施設については阪神・淡路大震災規模の地震動に対し、施設の耐震化を実施

これからの取組

- 施設に加わる地震力が関東大震災規模の地震動より3倍程度大きい阪神・淡路大震災など想定される最大級の地震に対する耐震対策を実施
- 震災時においても揚水、簡易処理及び消毒など必ず確保すべき機能を担う施設の耐震化を実施



【対象施設】

○全ての水再生センター及びポンプ所の揚水、簡易処理及び消毒などの機能を担う施設

＜施設数＞

- ・水再生センター 13か所
- ・ポンプ所 85か所

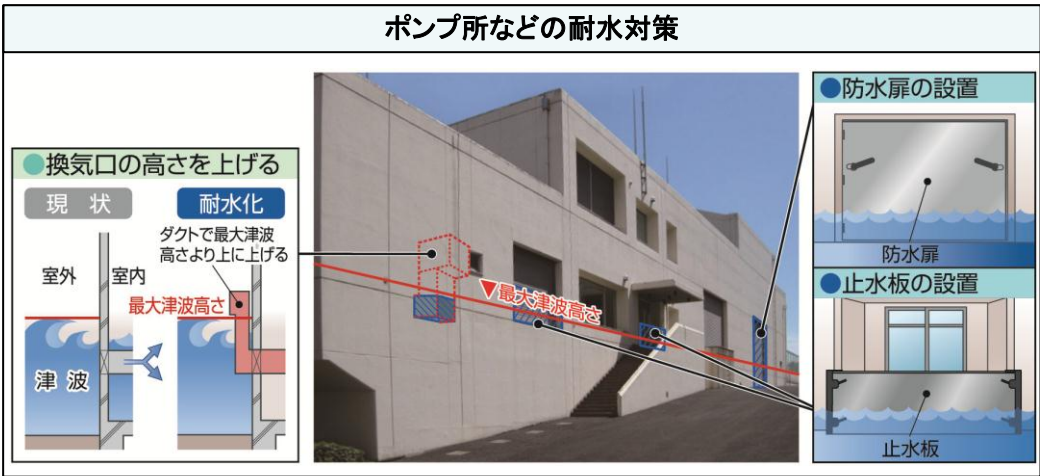
平成31年度末までに概ね完了

耐水対策

水再生センター及びポンプ所の耐水化

○平成12年に発生した東海豪雨規模（1時間114mm）の大雨による浸水高さを想定した耐水対策を平成21年度までに完了

○東京都防災会議で示された最大津波高さ（T.P.+2.61）に対し、電気設備などの浸水を防ぐ耐水対策を実施



【対象施設】

○最大津波高さより地盤高さが低い施設

＜施設数＞

- ・水再生センター 5か所
- ・ポンプ所 29か所

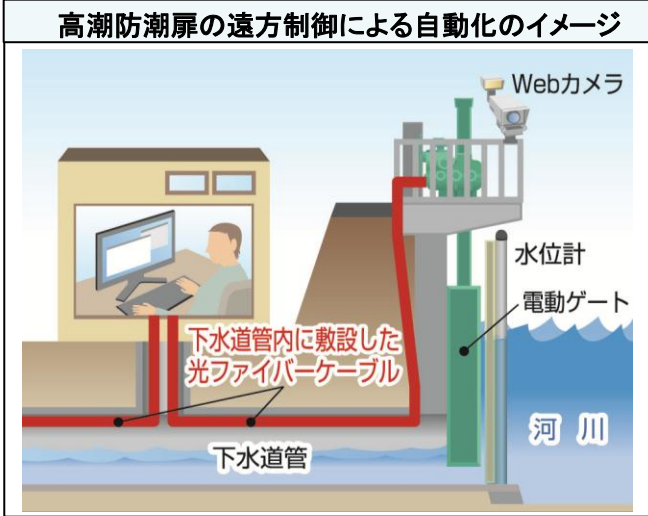
平成28年度末までに概ね完了

高潮防潮扉の操作等

下水道管内への津波の逆流防止対策

○高潮や津波の下水道管内へ逆流を防ぐため、高潮防潮扉を設置し、手動で開閉操作

○津波発生時の閉鎖の迅速性、安全性を確保するため、高潮防潮扉の遠方制御による自動化などを実施



【対象施設】

○最大津波高さより周辺の地盤高さが低く、自動的に閉鎖する装置がない高潮防潮扉

＜施設数＞

- ・高潮防潮扉 20か所

平成28年度末までに概ね完了